
高陵小学校の校歌、校章について

令和4年4月に平米小学校と定塚小学校が再編統合をして開校する高陵小学校の校歌の作詞、作曲者と校章が決まりました。

校歌、校章の作成にあたっては、保護者や自治会等の関係者で構成する高陵中学校区統合小学校開設準備会で検討を進めてきたところであり、下記のとおり決定しました。

(1)校歌 作詞：須藤 晃 氏

作曲：石崎 ひゅーい 氏

(2)校章 デザイン：金沢美術工芸大学 教授 畠山 耕治 氏

<別紙のとおり>

【高陵中学校区統合小学校開設準備会における検討経過】

令和2年6月9日 校歌、校章の検討

～9月30日

12月1日 校歌、校章の作成方針を決定

令和3年9月14日 校章について複数案を示し意見集約

～9月30日

10月13日 校章の採用案を決定

担当：教育改革推進室

TEL30-6507（内線 2020）

高岡市立高陵小学校校章



「陵」のもつイメージよりの校章である。「大きな丘」、「登る、超える」といった向上心を持ち、どんな困難にも立ち向かい、乗り越えていく願いが込められている。中央には両校のシンボルである「鳳凰」を配置し、学問の神様・菅原道真が愛した梅の花は、高陵中学校でも用いられているモチーフであり、鳳凰の横に添えられたオリーブには、平和・知恵といった花言葉の意味が込められている。中央下の二本線は、定塚小・平米小の統合のイメージとした。

金沢美術工芸大学 教授 畠山耕治

○須藤 晃 氏（音楽プロデューサー・作家）

1952年 富山県出身（高陵中学校出身）

1977年東京大学英米文学科卒業後、CBS ソニー（現 SME）入社

1996年より（株）カレントファクトリー主宰

2015年より富山オーバード・ホール芸術監督

尾崎豊、村下孝蔵、玉置浩二、石崎ひゅーいらを担当し音楽制作のパートナーとして数々の名曲を発表。

言葉（歌詞）にこだわったプロデューススタイルでメッセージ性の強い作品を生み出し続けている。

2015年より公益財団法人 富山市民文化事業団 オーバード・ホール芸術監督に就任。

○石崎 ひゅーい 氏（シンガーソングライター）

1984年3月7日生まれ。茨城県水戸出身。

2012年7月25日「第三惑星交響曲」でメジャーデビュー。

2013年6月にテレビ東京系ドラマ「みんな！エスパーだよ！」のエンディング曲「夜間飛行」を、7月に1stフルアルバム「独立前夜」をリリース。

2018年3月に初のベストアルバム「Huwie Best」を発表後、全48公演におよぶ全国弾き語りツアーを実施した。同年12月、菅田将暉への提供曲のセルフカバー「さよならエレジー」を配信リリース。「アズミ・ハルコは行方不明」や「そらのレストラン」といった映画に出演するなど、役者としても活躍している。

○畠山 耕治 氏（金沢美術工芸大学教授・金属作家）

生年：1956年 富山県高岡市生れ

1980年：金沢美術工芸大学卒業

主な受賞歴：

2001年 タカシマヤ文化基金タカシマヤ美術賞受賞

2007年 佐野ルネッサンス鑄金展大賞受賞

2012年 MOA 岡田茂吉賞 MOA 美術館賞受賞

ロンドン・ヴィクトリア&アルバート美術館はじめ国内外の多数の美術館に作品が所蔵されており、国内はもとよりイギリス、アメリカ等海外39ヶ国、93都市にて作品発表を行い、国際的な活躍をされておられる。